

ボランティアセンター日誌

明るく飛躍の年に! 合同新年会



1月10日(月) 東山温泉ホテルメイプルプラザ

穴栗ろうあ協会と穴栗市手話サークル連絡会合同の新年会が行われ、20名が参加した。

穴栗ろうあ協会小瀬正行会長の「今年は飛躍の年にしましょう」のあいさつで始まり、食事を囲んで交流を深めた。

参加者からは「みんなが集まるのは良いこと。多くの世代の人に参加してほしい」と声が聞かれた。

協会とサークルが協力して取り組む手話での活動。今年もみなさんの活躍を期待します。

(波賀支部 岩井希望)

ボランティアセンター日誌

神戸へ届け! 希望の灯



1月17日(月) 一宮保健福祉センター

阪神淡路大震災から16年になるこの日。社協でも神戸市で行われる1.17メモリアルウォークに参加者を募り、46名で参加予定でしたが、前日から降り積もった大雪で、やむなく参加中止としました。

本部玄関前で、メモリアルウォークに参加できなかったみなさんの思いも込めて、鎮魂・祈り・希望をたくし、竹筒にろうソクを浮かべ灯りを灯しました。

あの震災の記憶が風化しないように、あらためて1.17という日を大切にしたいと思います。

(本部・一宮支部 田中祥仁)

ボランティアセンター日誌

赤い羽根人形劇で ボランティアがお手伝い



1月22日(土) 一宮保健福祉センター

京都から人形劇団「京芸」を招き、実施した赤い羽根人形劇に、市内の人形劇グループ「夢工房やまさき」と「人形劇グループどんぐり」が受付や案内、また参加した子どもたちへポップコーンの配布など、ボランティアスタッフとしてお手伝いしていただいた。

人形劇終了後に、京芸のみなさんを交えて質問タイム。舞台裏やセットの組み方、人形の扱い方など質問し、熱心に聞き入った。

夢工房やまさきの嶋津さんは「プロの人形劇を見る機会は少ないので、こういう機会に誘っていただいて、ありがたいです」と、短い時間でも有意義な交流ができた様子。

今日の学びを、それぞれの人形劇に活かして、これからも子どもたちに笑顔を届けてください。

(本部・一宮支部 田中祥仁)

ボランティアセンター日誌

絵手紙で届けるメッセージ



1月24日(火) お弁当に絵手紙添えて

一宮支部の配食サービスで、お弁当に絵手紙を添えて利用者にお届けした。

この絵手紙は、ボランティアグループ西公文絵手紙の会が「配食サービス利用者へ絵手紙を」と社協で預かり、配食サービスの利用者へお弁当と共にお届けしている。

絵手紙には「寒くなっても心あたたまる毎日を」「泣いたり笑ったりいろいろあった みんないい思い出」など心温まるメッセージ。

これからもこの心温まる絵手紙が多くの方に届くように、みなさんの絵手紙が届くのを楽しみに待ってます。

(本部・一宮支部 田中祥仁)